2026年5月吉日

滋賀県内各市町立小学校
校長先生　各位
安全教育担当教諭　各位
ＩＣＴ教育担当教諭　各位

一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部
（担当：坂田 健、神野 幸子）

第23回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」のご案内と実施のお願い

拝啓
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、弊会の事業にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、神戸市教育委員会様，校長会様のご承諾をいただき、内閣府や文部科学省などの後援のもと、2004年度から取り組んでおります「ぼうさい探検隊」のご案内をさせていただくこととなりました。
この取り組みは、①「地域の知恵や教訓を学び、考え、マップにまとめ未来に伝えよう！」をスローガンに、②子どもと大人が共に活動する「防災共育＝教育」と③安全で安心な地域社会づくりをめざし、④防災・防犯などの安全教育を子どものうちからという趣旨に基づき推進しています。
昨今、自然災害や子どもを巻き込む犯罪や交通事故が頻発する中で、安全で安心な地域づくりを支援する活動として「ぼうさい探検隊」を活用いただく事例が増えております。
ご活用いただくメリットは、以下のとおりです。
①応募いただいたマップから優秀なマップを全国ベースのコンクールで表彰させていただきます。
②マップ作成に必要な実施キット（1チーム・10名用：模造紙，文房具類）と実施マニュアルを無償提供します。
③参加された児童全員に参加賞を贈呈します。
④手軽にデジタルマップが作れる「まち探検アプリ」搭載の専用タブレットで実施していただけます。参加申込みいただける場合に無料で貸し出しいたします。

＜「まち探検アプリ」の概要＞
①地図や模造紙等の事前準備が不要、②探検中、地図上の安全または危険な地点ごとに写真をデータで取り込め、コメントを音声や文字で入力できます。③グループごとに作成したマップを発表できる「発表会モード」を搭載し、参加メンバー間で複数マップを共有できます。

つきましては、貴校、そして地域の皆様との取り組みとしまして、本プログラムの実施をご検討
いただきますようお願い申し上げます。

敬具

【「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」概要】

ぼうさい探検隊とは、子どもたちが楽しみながら自分の住んでいる町を歩き、防災・防犯施設（消防署，避難所，備蓄倉庫，交番，こども110番の家など）や危険な交差点などを発見し、子どもたちの視点で、気づいたことをマップにまとめていくものです。

また、引率者（教職員，地域ボランティア等）の皆さんには、これらの施設や場所がどのような役割を果たしているか、子どもたちに考えるきっかけを示していただいたり、子どもたちが消防署や交番等の防災や防犯に関する施設や場所でインタビューを行う環境を整えていただくなど、協力いただきたいと思います。

2025年度は、全国の小学校、子ども会、児童館など407団体から6,665人が参加し、1,289作品（うち、当協会のタブレットを用いて作成したデジタルマップは548作品）が寄せられました。

これまでの「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品集などを弊会ホームページ（ https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/archive/index.html ）で紹介しておりますので、あわせてご覧いただければ幸いでございます。

応募締切は、11月20日（金）です。総合学習、防災教育、安全教育、ＩＣＴ教育の取組みとしていただければありがたく存じます。

なお、前回の応募締切の2025年11月5日以降に作成されたマップにつきましても応募対象でございますので、あわせて応募のご検討をお願いいたします。

参加申込みは、添付の用紙（募集要項チラシ）に必要事項をご記入の上、マップコンクール事務局へお送りいただくか、弊会「参加専用ホームページ（ https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/forms/index.html」へアクセスの上、「ぼうさい探検隊」参加申込フォームに必要事項を入力いただくことで申込みいただけます。

防災・地震、防犯、交通安全など、様々なテーマでのマップのご応募をお待ちしております。

ご不明な点および実施いただける場合の追加資料（「実施マニュアル」）送付は、下記担当者までご連絡いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

以上

本件に関する問合せ先： 一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部　坂田 健、神野 幸子

〒541-0041　大阪市中央区北浜2-6-26 大阪ｸﾞﾘｰﾝﾋﾞﾙ9階　TEL：06-6202-8761

（ご参考）「ぼうさい探検隊」の実施イメージについて

①まちなか探検・地域の方へのインタビュー

子どもたちの視点でまちを探検して、防災・防犯・
交通安全に関する様々な施設や設備を発見します。

②マップの作成

街区地図などを用いて発見したこと、
気づいたことを模造紙に記入・整理していきます。

③作成したマップの発表

マップができあがったら、自分たちで発見したことや
気づいた点などについて発表します。

上記のプログラムをタブレットでも実施できます。

（専用タブレットを当会から貸し出ししています。）

タブレットで作成されたマップの一例

模造紙で作成されたマップの一例

（ご参考）日本損害保険協会について

日本損害保険協会は、国内の損害保険会社を会員会社とした業界団体であり、1917年に設立されました。安心かつ安全な社会の形成に寄与するために、防災の取組みを行っています。

ぼうさい探検隊のほか、ハザードマップの理解促進ツールも作成しており、無料でPDFをダウンロードできますので、ぜひ、授業等でご活用ください。また、当協会では、このほかにも無料で活用できる防災教育ツールを多数用意しており、防災ポータルサイト「そんぽ防災Web」を通じて案内しておりますので、ぜひこちらも、ご活用ください。

●副読本「ハザードマップと一緒に読む本」

全国の市町村において住民向けに作成されている洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップの理解を促すための副読本です。

本副読本は、自然災害への対策等について住民自ら考えてもらえるようにストーリー性を持たせることにより、洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップの訴求ポイントが理解できるよう工夫してまとめています。

●チラシ「ハザードマップで自分のまちの危険を知ろう！」

自分が住むまちのハザードマップが検索できるサイトにアクセスできたり、ハザードマップを見てチェックするポイントを学んだりすることのできるチラシです。

「水災害編」と「地震災害編」の2種類のチラシを用意しており、災害ごとに命や家を守るためのポイントもまとめていますので、ぜひご活用ください。なお、「水災害編」の作成にあたっては、国土交通省に協力いただいていま

●防災ポータルサイト「そんぽ防災Web」

そんぽ防災Web
一般社団法人日本損害保険協会 SONPO

そんぽ防災Web で検索！

日本損害保険協会の防災ポータルサイトです。無料で活用できる防災教育ツールを多数用意しています。